

活動状況報告（5月）

学生留学コース 5期生 藤原 香夏

今月上旬、アルバータ州では多くの山火事が発生し、一部地域の住人は避難生活を送っていたようです。山岳部から離れているエドモントンは、火事の煙による大気汚染で空気が黄色く霞み、異様な臭いに街が包まれる日々が続きました。幸い雨が降り、このような山火事の影響も数日で落ち着き、青い空と澄んだ空気が戻ってきました。

さて、今月の活動報告書では、今学期履修している学部の授業についてご報告いたします。私は現在「Sports and religion」という授業を履修しており、この授業は宗教的、神学的観点からスポーツを考察するといった内容です。この授業での宗教とは、主にキリスト教を指し、スポーツとはなにか、人々に何をもたらすのか、というスポーツの文化としての基礎的な内容から、スポーツと宗教の関係性や問題点、スポーツへの参加の様々な形態（プレー、コーチング、観戦）から、それらが精神的および宗教的にどのような重要性をもたらすのか等学んでいます。

カナダは、国民の半数以上がクリスチャンとされており、キリスト教との結びつきが強い国です。これまで指導、プレイ、文化的価値など多様な視点からスポーツを学んできましたが、宗教的観点から学ぶことは無かったので、スポーツに関する知識や捉え方を新たな視点から学び得ることができています。

また、授業を受講していく中でスポーツとは人々にとって娯楽であり、プレイしているとき、観戦しているときにはほんの数時間だけ現実から逃れることができるため、多くの人が夢中になるものであることを再度学び、やはりそのようなスポーツの魅力、持っている力というものを少しでも多くの人に伝え、感じてもらい、少しでも多くの人々の人生・生活が豊かになるようなものを提供していきたいと改めて感じました。

このような環境で日々学ぶことができているのは、ご支援いただいている皆様のおかげです。引き続き、応援、ご支援の程よろしくお願い致します。

